

未来へひろがる 数学 2

学習内容一覧表

1章 式の計算	……	2
2章 連立方程式	……	4
3章 一次関数	……	6
4章 図形の調べ方	……	8
5章 図形の性質と証明	……	10
6章 確率	……	12
7章 箱ひげ図とデータの活用	……	14

本資料は、令和2年度用教科書「未来へひろがる 数学 2」及び「移行用補助教材 2019年度第1学年用／2020年度第2学年用」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。

学校の授業以外の場において取り組む学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定して示した一例ですので、地域や学校の状況に合わせて、適宜、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減していただくなどしてご活用ください。

なお、指導時期は、平時に学校で授業を行う際の目安時期を記載しています。

学習内容一覧表内の記号の意味

MathNavi ブック「**学びをつなげよう**」は、本冊の内容と関連して指導計画に位置づけることができる **MathNavi** ブック(別冊)の「**学びをつなげよう**」の内容を、関連する本冊内容の項の先頭に示しています。

学校の授業以外の場での学習に関する指導上の留意事項

- ※1は、節とびらの「自分のことばで伝えよう」、「みんなで話しあってみよう」について、生徒の習熟の程度によっては、問題や状況の理解等に時間がかかることを考慮して、限られた時間でなるべく多くの生徒が取り組めるように工夫することが望まれます。
- ※2は、学校の授業以外の場での学習について、ノートの点検などを通して、多くの生徒が苦手とする内容を特定し、学校の授業に反映できるよう工夫することが望まれます。
- ※3は、学校の授業以外の場での学習状況を考慮して、ポイントを絞って、「基本のたしかめ」、「章末問題」を振り返ることができるよう工夫することが望まれます。
- ※4は、学校の授業以外の場での学習について、ノートの点検などを通して、学習の状況を把握し、学校の授業に反映できるように工夫することが望まれます。

1章 式の計算 (配当時間/12時間)

学校の授業/9.9時間, 学校の授業以外の場での学習/2.1時間

指導時期 2学期制: 4月~5月中旬, 3学期制: 4月~5月中旬

- 目標/文字を用いた式を活用することのよさを実感し, それを用いて数量や数量の間の関係を的確に表現し, 説明しようとする能力や態度を養う。また, いくつかの文字を含む四則計算ができるようにする。そのために,
- ア. 文字を用いた式に関するいろいろな用語の意味を理解し, それが正しく使えるようにする。
- イ. 簡単な単項式, 多項式での加法, 減法, 及び, 単項式どうしの乗法, 除法の計算ができるようにする。
- ウ. 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明することを理解できるようにする。
- エ. 目的に応じて簡単な等式を変形できるようにする。

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち 授業が必要な時数)	学校の授業以外の 場での学習が可能 と考えられる学習 活動
1 式の計算 (7) (6.4)	節とびら p.12-14	・数量の関係をとらえ, 説明する際には, 式の計算を利用すると便利であることを知る。		3 (3)	予習で, p.13の「みんなで話しあってみよう」について, 気づいたこと, わからなかったことなどをノートに書くなどして, 学習内容の見直しをもつ。 ※1
	1 式の加法, 減法 p.15-18	MathNaviブック [学びをつなげよう] ・文字式の表し方 ・文字の式に関連した用語の意味 ・同類項の意味と同類項をまとめること ・式の加法, 減法	単項式, 多項式, 項, 次数, 一次式, 二次式, 同類項		
	2 いろいろな多項式の計算 p.19-21	MathNaviブック [学びをつなげよう] ・式の値 ・多項式と数の乗法, 除法 ・(数×多項式)の加減 ・式を簡単にしてから代入して, 式の値を求めること		2 (1.7)	p.21の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.3時間】
	3 単項式の乗法, 除法 p.22-24	・長方形の面積を2通りの式で表し, 比較することを通して, 単項式の積のきまりを見いだす。 ・単項式どうしの乗法, 除法 ・乗除の混じった単項式の計算		2 (1.7)	p.24の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.3時間】

2 文字式の利用 (3) (3)	節とびら p.25	<ul style="list-style-type: none"> • 2けたの数で、もとの数と十の位と一の位を入れかえた数の和についてのきまりを見いだし、文字式を利用して説明することへの関心を高める。 		3 (3)	<p>予習で、p.25の「みんなで話しあってみよう」について、気づいたこと、わからなかったことなどをノートに書くなどして、学習内容の見通しをもつ。</p> <p>※1</p>
	1 文字式の利用 p.26-29	<p>MathNaviブック [学びをつなげよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 関係を表す式 	<ul style="list-style-type: none"> • 文字を用いた式で、数量や数量の関係を表したり、説明したりすること • 条件がえをして予想をたて、その予想が成り立つ理由を説明する。 • 2つの奇数の和が偶数になることを、同じ文字を使って表した説明では不十分であることについて、話しあいを通して理解を深める。 • 目的に応じて簡単な等式を変形すること 		<p>x について解く</p>
章末 (2) (0.5)	基本のたしかめ		p.30	2 (0.5)	<p>p.30-33の「基本のたしかめ」、「章末問題」、「千思万考」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。「基本のたしかめ」、「章末問題」は、わからない問題があれば特定する。※3</p> <p>【1.5時間】</p>
	章末問題、千思万考「数字の順番を逆にする数」		p.31-33		
	数学展望台「誕生日をあてる」		p.33		

2章 連立方程式 (配当時間／13時間)

学校の授業／10.5時間, 学校の授業以外の場での学習／2.5時間

指導時期 2学期制：5月中旬～6月下旬, 3学期制：5月中旬～6月下旬

- 目標／連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。そのために、
- ア. 2つの文字を含む等式から文字の値が求められることを知る。
 - イ. 連立二元一次方程式の必要性と意味、及びその解の意味を理解する。
 - ウ. 連立二元一次方程式の解法を理解し、その解法に習熟する。
 - エ. 問題解決の場面で、連立二元一次方程式を活用することができるようにする。

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち 授業が必要な時数)	学校の授業以外の 場での学習が可能 と考えられる学習 活動
1 連立方程式 (7) (6.5)	節とびら p.34-35	・日本に昔から伝わる「さっさ立て」を模した基石分けの活動を通して、2つの未知数を文字で表し解決する方法があることへの関心を高める。		2 (2)	予習で、p.35の「みんなで話しあってみよう」について、気づいたこと、わからなかったことなどをノートに書くなどして、学習内容の見通しをもつ。 ※1
	1 連立方程式とその解 p.36-37	・二元一次方程式とその解の意味 ・連立方程式とその解の意味 ・連立方程式の解のたしかめ	二元一次方程式, 解, 連立方程式, 連立方程式の解, 連立方程式を解く		
	2 連立方程式の解き方 p.38-45	MathNavi ブック [学びをつなげよう] ・図に表して考える ・一次方程式の解き方 ・数量の関係を図に表し、図の操作との比較から連立方程式の解法を見いだす。 ・文字の消去の意味 ・加減法による連立方程式の解き方 ・代入法による連立方程式の解き方 ・連立方程式をどの方法で解くか、その見通しのもち方やそれぞれの解法のよさを話しあう。 ・いろいろな連立方程式の解き方	消去, 加減法, 代入法	5 (4.5)	p.45の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.5時間】
2 連立方程式	節とびら p.46	・連立方程式を利用して、身のまわりの問題が解決できることへの興味・関心を高める。		4 (3.5)	予習で、p.46の「自分のことばで伝えよう」について、気づいたこと、わからなかったことなどをノートに書くなどして、学習内容の見通しをもつ。※1

<p>の 利 用 (4) (3.5)</p>	<p>1 連立方程 式の利用</p> <p>p.47-51</p>	<p>MathNaviブック〔学びをつなげよう〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割合 ・問題を解決するために、数量の関係をとらえ、見通しをもって連立方程式に表すこと ・連立方程式を使って、問題を解決すること ・連立方程式の解が、問題にあっているかどうかを吟味すること 			<p>p.51の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.5時間】</p>
<p>章 末 (2) (0.5)</p>	<p>基本のたしかめ</p> <p>章末問題, 千思万考「どの和も等しくするには?」</p> <p>数学展望台「さっさ立て」</p>	<p>p.52</p> <p>p.53-54</p> <p>p.55</p>		<p>2 (0.5)</p>	<p>p.52-54の「基本のたしかめ」,「章末問題」,「千思万考」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。「基本のたしかめ」,「章末問題」は、わからない問題があれば特定する。※3 【1.5時間】</p>

3章 一次関数 (配当時間／19 時間)

学校の授業／15.5 時間, 学校の授業以外の場での学習／3.5 時間)

指導時期 2 学期制：6 月下旬～9 月, 3 学期制：6 月下旬～9 月

- 目標／変化や対応についての見方や考え方をいっそう深めるとともに, 事象の中から一次関数を見だし, それを用いることができるようにする。そのために,
- ア. 一次関数の意味を理解し, 身のまわりの事象の中から, 一次関数とみられるものを見つけることができるようにする。
- イ. 一次関数の特徴を理解し, 一次関数のグラフがかけられるようにする。
- ウ. 直線が与えられているとき, その直線の式が求められるようにする。
- エ. 一次関数のグラフと二元一次方程式のグラフとの関係や連立方程式の解とグラフとの関係を明らかにする。
- オ. 具体的な事象を一次関数とみなし, それを問題解決に利用できるようにする。

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち 授業が必要な時数)	学校の授業以外の 場での学習が可能 と考えられる学習 活動
1 一次関数と グラフ (10) (8.4)	節とびら p.56-57	・水そうに水を入れる場面から, 既習の比例とは異なる関数関係を見だし, 比例との比較を通して, その新しい関数について考察する。		2 (1.7)	予習で, p.57 の「みんなで話しあってみよう」について, 気づいたこと, わからなかったことなどをノートに書くなどして, 学習内容の見直しをもつ。 ※1
	1 一次関数 p.58-60	MathNavi ブック [学びをつなげよう] ・比例の式, 性質 ・一次関数の意味 ・自然現象の中には, 一次関数となるものがあること 数学展望台「雷さまはどこ？」 p.60	一次関数		p.60 の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.3 時間】
	2 一次関数の値の変化 p.61-63	・一次関数の値の変化 ・変化の割合の意味 ・変化の割合が, どんな関数でも一定ではないこと	変化の割合	2 (1.7)	p.63 の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.3 時間】
	3 一次関数のグラフ p.64-68	MathNavi ブック [学びをつなげよう] ・比例のグラフ ・一次関数 $y=ax+b$ のグラフの意味 ・比例のグラフと一次関数のグラフとの関係と切片の意味 ・傾きの意味と変化の割合との関係 ・一次関数のグラフを, 傾きと切片を用いてかくこと	切片, 傾き	3 (3)	
	4 一次関数の式を求め	MathNavi ブック [学びをつなげよう] ・比例の式を求めること		3	p.72 の「自分の考えをまとめよう」, 「練

	ること p.69-72	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数のグラフから、傾きと切片を読みとって式を求めること 傾きとグラフ上の1点の座標から式を求めること グラフ上の2点の座標から式を求めること 一次関数の表、式、グラフの相互の関連をまとめ、理解を深める。 		(2)	習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない内容や問題があれば特定する。 ※2※4 【1時間】
2 一次関数と方程式(3) (2.6)	節とびら p.73	<ul style="list-style-type: none"> 二元一次方程式の解の組の値を座標とする点をとる活動から、二元一次方程式と一次関数の関係を見いだす。 		2 (1.6)	予習で、p.73の「みんなで話しあってみよう」について、気づいたこと、わからなかったことなどをノートに書くなどして、学習内容の見通しをもつ。※1
	1 方程式とグラフ p.74-77	<ul style="list-style-type: none"> 方程式 $ax+by=c$ のグラフ 方程式のグラフを、2点を求めてかくこと $y=k$ のグラフ、$x=h$ のグラフ 	方程式のグラフ		
	2 連立方程式とグラフ p.78-79	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式の解とそのグラフの交点の座標との関係 2直線の交点の座標を、連立方程式を用いて求めること 		1 (1)	
3 一次関数の利用(4) (4)	節とびら p.80	<ul style="list-style-type: none"> 電話の通話プランの通話時間と料金の関係が一次関数とみなせることを見だし、グラフを利用して最適なプランを判断する。 		4 (4)	予習で、p.80の「みんなで話しあってみよう」について、気づいたこと、わからなかったことなどをノートに書くなどして、学習内容の見通しをもつ。 ※1
	1 一次関数の利用 p.81-85	<ul style="list-style-type: none"> 事象の中から一次関数を見だし、一次関数を用いて問題を解決すること 水温の変化や動点のようすを一次関数でとらえ、式やグラフを使って推測すること 	数学展望台「列車のダイヤグラム」 p.85		
章末(2) (0.5)	基本のたしかめ p.86			2 (0.5)	p.86-89の「基本のたしかめ」、「章末問題」、「千思万考」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。「基本のたしかめ」、「章末問題」は、わからない問題があれば特定する。※3 【1.5時間】
	章末問題、千思万考「効率よく移動するには？」 p.87-89				

4章 図形の調べ方（配当時間／16時間）

学校の授業／13時間，学校の授業以外の場での学習／3時間

指導時期 2学期制：10月～11月，3学期制：10月上旬～11月

- 目標／図形の性質を調べる上で基礎となる見方・考え方や基本的性質を，観察や操作，実験などの活動を通して明らかにし，論証の意義と推論の進め方について理解する。そのために，
- ア．対頂角の性質，平行線と角の関係について調べる。
- イ．三角形の内角の和について調べ，それをもとにして多角形の角について調べる。
- ウ．合同な図形の性質，三角形の合同条件などを明らかにする。
- エ．「証明」することの意義としくみについて理解する。
- オ．平行線と角の関係や三角形の合同条件を根拠にした証明の進め方，図形の性質の調べ方について理解する。

節	項	学習内容	用語・記号	配当時間 (そのうち 授業が必要な 時間数)	学校の授業以外の 場での学習が可能 と考えられる学習 活動
1 平行と 合同 (10) (9)	節とびら	<ul style="list-style-type: none"> 平行な2直線とそれらに交わる直線によってできる角についての性質を調べる活動を通して，図形の性質とその調べ方についての関心を高める。 		3 (2.8)	予習で，p.91の「みんなで話しあってみよう」について，気づいたこと，わからなかったことなどをノートに書くなどして，学習内容の見直しをもつ。 ※1
	p.90-91				
	1 角と平行線	MathNaviブック [学びをつなげよう] <ul style="list-style-type: none"> 図形のことを記号で表すこと 	対頂角， 同位角， 錯角	3 (2.8)	p.95の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.2時間】
	p.92-95	<ul style="list-style-type: none"> 対頂角の性質 平行線と同位角の関係 平行線と錯角の関係 平行線の性質や平行線になる条件をもとに，新たな性質を説明する。 			
2 多角形の角	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の内角の和 三角形の内角と外角の関係 三角形の1つの外角は，そのとりにない2つの内角の和であることを見だし，説明する。 角の分類と角による三角形の分類 多角形の内角の和 n角形の内角の和を表す式から考え方を読みとり，説明することを通して，内角の和の多様な求め方の理解を深める。 多角形の外角の和 	外角，内角， 鋭角，鈍角， 鋭角三角形， 直角三角形， 鈍角三角形	4 (3.7)	p.102の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.3時間】	
p.96-102	数学展望台「1周した結果は…」 p.102				
3 三角形の合同	MathNaviブック [学びをつなげよう] <ul style="list-style-type: none"> 合同な三角形のかき方 		3	p.106の「練習問題」を学校の授業以外	

	p.103-106	<ul style="list-style-type: none"> ・合同な図形の性質 ・三角形の決定条件をもとにして、合同な三角形をかくのに必要な条件を見いだす。 ・三角形の合同条件 数学展望台「2組の辺とその間にない角だと？」 p.106	≡	(2.5)	の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.5時間】
2 証明 (4) (3.5)	節とびら p.107	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた条件のもとで図をかき、そこから新たな図形の性質を見いだす活動を通して、仮定と結論の理解を深め、推論の方法についての見通しをもつ。 		2 (2)	予習で、p.107の「みんなで話しあってみよう」について、気づいたこと、わからなかったことなどをノートに書くなどして、学習内容の見通しをもつ。 ※1
	1 証明とそのしくみ p.108-111	<ul style="list-style-type: none"> ・証明の意味と必要性 ・仮定と結論の意味 ・証明しくみ ・証明の根拠となることから 	仮定、結論、証明		
	2 証明の進め方 p.112-114	<ul style="list-style-type: none"> ・合同条件を使って簡単な図形の性質を証明すること ・星形の先端にできる5つの角の和が何度になるかを考え、まとめる活動を通して、根拠を明確にした証明の進め方の理解を深める。 		2 (1.5)	p.114の「自分の考えをまとめよう」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない内容があれば特定する。※4 【0.5時間】
章末 (2) (0.5)	基本のたしかめ p.115			2 (0.5)	p.115-117の「基本のたしかめ」、「章末問題」、「千思万考」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。「基本のたしかめ」、「章末問題」は、わからない問題があれば特定する。※3 【1.5時間】
	章末問題、千思万考「条件を変えて角の大きさを求める」 p.116-117				

5章 図形の性質と証明 (配当時間/18時間)

学校の授業/15.6時間, 学校の授業以外の場での学習/2.4時間

指導時期 2学期制: 11月下旬~1月中旬, 3学期制: 11月上旬~1月上旬

- 目標/平行線についての性質や三角形の合同条件を根拠にして, 三角形や平行四辺形の性質を調べ, それらを活用することができるようにする。また, これらを通して, 図形の論証に対して興味・関心をもち, 筋道を立てて考えようとする態度を身につける。そのために,
- ア. 三角形の合同条件を使って, 二等辺三角形の性質を証明し, 図形の性質の調べ方を理解する。
- イ. 直角三角形の合同条件を導き, その使い方を理解する。
- ウ. 平行四辺形の性質や平行四辺形になる条件について理解する。
- エ. 長方形, ひし形, 正方形と平行四辺形の関係, 平行線による等積変形などについて理解する。

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち 授業が必要な時数)	学校の授業以外の 場での学習が可能 と考えられる学習 活動
1 三角形 (7) (6.5)	節とびら p.118-119	・『塵劫記』の「木の高さの求め方」では, どんな図形の性質を用いているのかを見だし, 図形の性質を証明することについて関心を高める。		5 (4.8)	予習で, p.119の「みんなで話しあってみよう」について, 気づいたこと, わからなかったことなどをノートに書くなどして, 学習内容の見通しをもつ。 ※1
	1 二等辺三角形 p.120-127	MathNaviブック [学びをつなげよう] ・三角形 ・紙を折ったり, 作図したりする活動を通して, 二等辺三角形の性質を見つける。 ・二等辺三角形の基本性質とその証明 ・1つの証明から, ほかにいえることを考える。 ・定義, 定理の意味 ・2角が等しい三角形は二等辺三角形であること ・逆の意味とその真偽 ・あることがらが正しくないことを, 反例をあげて示すこと ・正三角形と二等辺三角形の関係	定義, 頂角, 底辺, 底角, 定理, 逆, 反例		p.127の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.2時間】
	2 直角三角形の合同 p.128-131	・直角三角形の合同条件とそれを使った証明 数学展望台「塵劫記」 p.131	斜辺	2 (1.7)	p.131の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.3時間】

2 四角形 (9) (8.6)	節とびら p.132-133	・いろいろな幅のリボンを重ねてできる四角形を観察することを通して、それがどんな四角形であることを示すことへの関心を高める。	2 (1.8)	予習で、p.132の「みんなで話しあってみよう」について、気づいたこと、わからなかったことなどをノートに書くなどして、学習内容の見直しをもつ。 ※1
	1 平行四辺形の性質 p.132-135	MathNaviブック [学びをつなげよう] ・四角形 ・平行四辺形の定義と性質 ・平行四辺形の性質の証明 数学展望台「ミウラ折り」 p.135		□
	2 平行四辺形になる条件 p.136-139	MathNaviブック [学びをつなげよう] ・平行四辺形のかき方 ・平行四辺形になる条件とその証明 ・いろいろな方法でかいた四角形が平行四辺形になることを証明し、平行四辺形になる条件の理解を深める。	3 (3)	
	3 長方形、ひし形、正方形 p.140-141	・長方形、ひし形、正方形の定義 ・平行四辺形に条件を付け加えると、どんな四角形になるかを見いだす。 ・長方形、ひし形、正方形と平行四辺形の関係	2 (2)	
	4 平行線と面積 p.142-143	・底辺が共通な三角形の性質 ・平行線による等積変形 ・平行線と面積の関係を利用して、面積を変えずに境界をあらためる方法を考える。	2 (1.8)	p.143の「練習問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※2 【0.2時間】
章末 (2) (0.5)	基本のたしかめ p.144		2 (0.5)	p.144-146の「基本のたしかめ」、「章末問題」、「千思万考」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。「基本のたしかめ」、「章末問題」は、わからない問題があれば特定する。※3 【1.5時間】
	章末問題、千思万考「線分の長さの関係は？」 p.145-146			
	数学展望台「ユークリッドの原論」 p.147			

6章 確率（配当時間／12時間）

学校の授業／10.3時間，学校の授業以外の場での学習／1.7時間）

指導時期 2学期制：1月中旬～2月中旬，3学期制：1月上旬～2月中旬

- 目標／不確定な事象についての観察や実験などの活動を通して，確率について理解し，それを用いて考察し表現することができようにする。そのために，
 - ア．確率の必要性和意味を理解し，簡単な場合について確率を求めることができるようにする。
 - イ．確率を用いて不確定な事象をとらえ説明することができようにする。

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち 授業が必要な時数)	学校の授業以外の 場での学習が可能 と考えられる学習 活動
1 確率の 意味 (3) (3)	節とびら p.148-149	・2枚の硬貨を投げたときの3通りの面の出かたについて，同様に確からしいかどうかを，実験を通して考える。		3 (3)	予習で，p.149の「みんなで話しあってみよう」について，気づいたこと，わからなかったことなどをノートに書くなどして，学習内容の見直しをもつ。 ※1
	1 起こりやすさと確率 p.150-152	・先験的に確率が考えられる事象について，実験を通して確率の意味を考え，確率を定義すること ・統計的な確率について，その意味を考えること ・実験した結果から，起こりやすさについて，「確率」の用語を使って説明する。	確率		
2 場合の 数と 確率 (7) (6.8)	節とびら p.153	・1つのさいころを投げたときに出る目の事象を考え，どの事象がもっとも起こりやすいかを考える。		2 (1.8)	予習で，p.153の「みんなで話しあってみよう」について，気づいたこと，わからなかったことなどをノートに書くなどして，学習内容の見直しをもつ。 ※1
	1 確率の求め方 p.154-156	・同様に確からしいことの意味と確率の求め方 ・簡単な場合について確率を求めること ・確率 p の値の範囲，及び $p=1$ ， $p=0$ の意味 ・場合の数の割合として求めた確率も，多数回の試行によって近づく値であって，必ず起こる回数割合ではないことについて，話しあいを通して理解を深める。	同様に確からしい		
	2 いろいろな確率	MathNaviブック【学びをつなげよう】 ・場合の数の調べ方①，②		5	

	p.157-163	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹形図，表などを用いて，起こりうる場合をもれや重なりがないように整理すること ・ いろいろな場合について確率を求めること ・ 確率を余事象の考えによって求めること ・ 確率の求め方について説明すること ・ くじ引きであたりをひく確率について，さきにひくか，あとでひくかによって，あたりやすさに違いがあるかどうかを考える。また，2人がひく場合をもとにして，3人がひく場合にはどうなるかを，話しあいを通して考える。 	樹形図	(5)	
章末 (2) (0.5)	基本のたしかめ		p.164	2 (0.5)	p.164-166 の「基本のたしかめ」，「章末問題」，「千思万考」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。「基本のたしかめ」，「章末問題」は，わからない問題があれば特定する。※3 【1.5時間】
	章末問題， 千思万考「座標と確率」		p.165-166		
	数学展望台「降水確率 60%なら，かさが必要？」		p.166		

補助教材 7章 箱ひげ図とデータの活用（配当時間／4時間）

学校の授業／3.5時間，学校の授業以外の場での学習／0.5時間）

指導時期 2学期制：2月下旬，3学期制：2月下旬

- 目標／箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの傾向を読み取り，批判的に考察して判断し，問題を解決できるようにする。そのために，
- ア．箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解する。
 - イ．箱ひげ図を作成したり，四分位範囲を求めたりできるようにする。
 - ウ．箱ひげ図や四分位範囲を用いて，複数のデータの傾向を比較して読み取り，批判的に考察し判断できるようにする。

節	項	学習内容	用語・記号	配当時数 (そのうち 授業が必要な時数)	学校の授業以外の 場での学習が可能 と考えられる学習 活動
1 データの 分析と問題 解決 (3)	節とびら p.8-9	・インターネットの通信速度の測定結果を表す図から，箱ひげ図のつくりを考える。		2 (2)	予習で，p.9の「みんなで話しあってみよう」について，気づいたこと，わからなかったことなどをノートに書くなどして，学習内容の見通しをもつ。 ※1
	1 箱ひげ図 p.10-12	・測定結果を表す図のつくりを既習事項と結びつけて考え，話しあう。 ・箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味 ・四分位数や四分位範囲の求め方，箱ひげ図のかき方 ・箱ひげ図からデータの傾向を読み取り，自分の考えをまとめて説明したり，他者の意見について批判的に考えたりする。	第1四分位数， 第2四分位数， 第3四分位数， 四分位数， 箱ひげ図， 四分位範囲		
	2 データを活用して問題を解決しよう p.13-14	・箱ひげ図の読み取り ・四分位数や箱ひげ図をもとにして，気温についての問題を解決する。 数学展望台「箱ひげ図とヒストグラム」 p.14		1 (1)	
章末 (1) (0.5)	基本のたしかめ		p.15	1 (0.5)	p.15の「基本のたしかめ」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。わからない問題があれば特定する。※3 【0.5時間】